

木曾川の水がうまれる
源流の里
信州・木祖村

木祖村勢要覧

2023



木曾川の水が生まれる

源流の里 木祖村

豊かな水と緑に育まれた「源流の里」を
子どもたちに受け継ぐために…

自然と調和した快適な生活環境づくり

郷土の自然を活かした産業おこし

郷土の自然を育むひとづくり

健康で安心して暮らせるむらづくり

村民と一緒に考え行動するむらづくり





村章

木の文字を図案化したもので、木曾と木祖の両方を示し、上部は美しい立木をあらわし、中央部分は山とその間から流れる水と山紫水明の自然を表現しています。上にひろく線は天に高くはばたく村の発展をあらわし、下方の円は豊かでのどかな村勢を表現したものです。



村木 とちのき



村花 りんどう

沿革

旧中山道の難所と言われた鳥居峠を境に、木祖村は戦国時代には武田氏と木曾氏の領地争いが続き、戦乱に巻き込まれた地でもあります。

江戸時代に徳川幕府が天下を支配した後は、村内藪原地区は旧中山道六十九宿の1つ「藪原宿」として栄えました。江戸時代の中ごろ1703年(元禄16年)より現在まで伝統工芸品として生産されている「お六櫛」の元祖である木櫛の生産が始まったのもこの頃です。1727年(享保12年)、当時の村内各地区の人口は、藪原宿が1,162人、藪原在郷470人、小木曾589人、菅357人で合計2,578人の人が住んでいたと記録に残っています。明治時代に入り、明治7年には藪原村、荻曾村、菅村が合併し、木祖村となりました。明治17年には藪原村、小木曾村、菅村に分村しましたが、明治22年に再び合併し現在の木祖村になりました。

木曾谷に中央西線や国道19号が開通し、木祖村は主力産業の木工産業を中心に栄え、また昭和初期に開設された藪原スキー場(現やぶはら高原スキー場)には中京方面から多くのお客様が訪れ、観光産業も昭和初期より盛んに行われています。また中央高地特有の冷涼な気候を利用した高原野菜の生産も現在では盛んに行われています。

地勢・気候・風土

木祖村は長野県の西南端、木曾郡の東北部に位置し、2,000m級の山々に囲まれた渓谷型の山村です。

本村の東側にある鳥居峠は、太平洋に注ぐ木曾川と日本海に注ぐ奈良井川との分水嶺となっています。村の中央部を木曾川が北から南に貫流し、そこへ大小の河川が合流し、それらの河川沿いである標高900m～1,100mの地域に集落及び耕地が散在しています。地質は粘版石板岩、角岩及び花崗岩からなっており緩傾斜地帯には火山灰土が堆積する地質となっています。木祖村の気温は中央高地特有で、過去に記録している最高気温は、36.0度、最低気温は氷点下23.4度で令和4年の年間平均気温は9.3度、直近5年間の平均降水量は2,270mmとなっています。夏の湿気が少なく、冬は積雪量が少ないものの比較的厳しい冷え込みとなります。



木祖村長 奥原 秀一

「木曾川源流の里」木祖村は、豊かな自然に培われ、多様な経済資源や観光資源を有した元気と笑顔あふれる村です。また、歴史や伝統文化の他、産業振興の原動力はこれまでの先人達の努力によって築かれたものです。この「木曾川源流の里」木祖村を広く知っていただくため、この度村勢要覧を改訂いたしました。

村では味噌川ダムの建設をきっかけに、木曾川の水を絆とした上下流交流に積極的に取り組んでいます。豊かな森林を育むこと、水源の涵養、森林保護の大切さを訴えながら、上流域と下流域が相互に理解しあう中で、産業・教育・文化・観光など幅広い分野で交流を進め、交流人口を増やすことにより地域の振興活性化を図るべく、村民との協働による交流活動を展開しています。

今後も、村民の皆さまにとって、「未来に誇れる源流の里」づくりを目指してまいります。

村歌「源流よ永遠に」

作詞、作曲 雅音人

〈1〉緑深き谷に 見守られて息づく
この命そして心を 育まれた誇り
山の幸 川の恵み 四季を染める草花
水木沢の森 木洩れ陽 織りなしてさざめく
なつかしさの向こうで やさしい笑顔が手をふる
源流の里よ 美しき木祖村

〈2〉伸びる木々の芽吹き その強さたくましさ
励まされ暮らしをつむぎ 明日へ誓う勇氣
風渡るこだまの森 満天の星の空
ここに生きている 全ての命が響き合う
絶え間なく流れゆく 木曾川の愛と願いよ
絆を結び合う ぬくもりの木祖村

この歴史を この風景を
次の時代 次の流れ そして未来へとつなげて
なつかしさに抱かれ 感謝と笑顔があふれる
源流よ永遠に 美しき木祖村
ぬくもりの 木祖村
源流の里 木祖村



CONTENTS

| | |
|--------------|----|
| 仕事の魅力創造・発信 | 4 |
| 交流・移住の拡大 | 6 |
| 子育て、多世代交流 | 8 |
| 健康で安心な村づくり | 12 |
| 資料編 | 20 |
| 第1章 歴史 | 21 |
| 第2章 自然 | 24 |
| 第3章 人口 | 25 |
| 第4章 生活環境・教育 | 27 |
| 第5章 保健・福祉 | 29 |
| 第6章 産業 | 31 |
| 第7章 財政 | 34 |
| 第8章 行政・議会 | 36 |
| 第9章 文化財・公共施設 | 37 |



仕事の魅力創造・発信



村内にはお六櫛・画材等をはじめとした木製品加工や畜産、農林業等これまで培ってきた産業があります。また、スキー場、こだまの森、水木沢天然林、奥木曾湖、鳥居峠、藪原宿など、観光資源もあります。

これらの資源を活かし、これまで培ってきた産業や仕事の魅力を再発見するとともに、若い世代や村外の方が魅力を感じるものへと変革していきます。また、地域資源を活かした新たな産業を興し、村外へ向けて、その魅力を発信していきます。





こだまの森キャンプ場

商工産業振興事業

木祖村の中小企業や小規模事業所が継続した経営ができると共に、地域産業の一翼を担えるような支援事業を継続します。季節ごとに異なる産業や事業所同士が連携した雇用の創出による担い手育成を目指します。

伝統工芸品の「お六櫛」は地域のブランドとして販売促進に繋げられるための担い手や原材料の確保支援を行います。

木祖村商工会、木祖村観光協会と連携し、上下流交流事業で結ばれたご縁を地域の稼ぐ力に変え意欲を持てる事業者育成を行います。



お六櫛

「源流の里」をイメージした観光地づくり

木祖村の観光拠点である「やぶはら高原」はグリーンシーズンは人気のキャンプ、スノーシーズンはスキーやスノーボードが楽しめる四季型の観光地です。やぶはら高原を中心に「水沢天然林」や「中山道鳥居峠」など自然散策ができ、更に奥木曾湖（味噌川ダム）ではカヌーやサップ体験などの受入れ体制整備も進んでいます。

それら自然環境や産業を活かし、やぶはら高原イベント実行委員会主催のマラソン大会や釣り、全国日曜画家中部日本展などを開催し、源流の里の魅力を最大限活用した観光地づくりを目指します。



やぶはら高原スキー場

6次産業化の推進について

家庭菜園を含め、村で収穫された農産物は高原野菜を始め、豆類、雑穀類も豊富です。山間部の特徴でもある山菜やキノコ類も豊富で自然の恵みの宝庫です。村民が収穫した野菜は地元の道の駅で販売が可能です。販売に不向きな物は加工に回し、加工品として販売しています。道の駅での加工と販売といったサイクルを確立し、村の農業の活性化を図ります。

交流・移住の拡大



人口減少が続いており、それを抑制するため、I・J・Uターンを積極的に推進します。また、多様な価値観を受け入れる土壌づくりを進め、より多くの方が定住できるよう取り組んでいきます。さらに、移住につながる人を増やすため、交流、体験を拡大し、木祖村を訪れる交流人口の増大も図っていきます。





なごや水フェスタ：物産展

木曽川上下流交流事業

本村は、愛知県名古屋市にアンテナショップ（木祖村名古屋総合拠点施設）を持っており、「木祖村友愛会（東海地区木祖村人会）」の活動も活発です。源流体験ツアーを実施するなど木祖村に多くの方が訪れています。木曽川の水を通じ下流地域住民との絆を深め、森林整備や水源涵養の大切さを知る場を設け源流の里を守っています。

農業インターンシップの実施

木祖村の農業への理解を深めてもらうことや木祖村での就農を具体的にイメージしてもらうことを目的とし、近い将来「就農先」や「移住定住先」として木祖村が選択肢の一つとなることを期待して農業インターンシップ事業を展開しています。

森林ボランティアを通じた 下流域との交流について

異常気象によるゲリラ豪雨等により、災害も頻繁に起こるなど、木曽川源流の里として、健全な森林づくりが極めて重要です。木曽川の上流交流事業を通じ、水源涵養機能の維持や森林整備の重要性の認識も高まっています。植・育樹祭や森林ボランティアなど、下流域に働きかけ、連携した森林整備を継続実施していきます。

子育て、 多世代交流



子育て世代の声に耳を傾け、子どもを健やかに育てる環境を整備するとともに、多世代が交流することを通じて、子育てしやすい環境を整備していきます。





母子保健事業

木祖村では、妊娠期から高校生までの子育て世代を切れ目なく支援するために、関係機関と連携しながら多くの事業を実施しています。経済的なサポートについては、健診や予防接種等、産前産後に必要となる費用の補助を幅広く実施しています。また、木祖村で安心して子育てができるよう、乳幼児健診や離乳食教室を細やかに開催しているのに加え、子育てヘルパー派遣事業や産後ケア事業等の産後の支援を充実させています。あわせて、子育て中の方が幅広く利用できる各種相談会やオンライン相談を実施し、孤立せずに子育てができる環境づくりに努めています。



離乳食教室

未就学児の一時保育事業

地域の子育て拠点施設「子育て支援センターみやのもり」では0歳児から小学校就学前の未就学児の一時保育をはじめ、親子で参加できる各種教室や子ども服の古着を配布する「おさがり会」等を開催しています。



未就学児の一時保育事業

小学校放課後対策（放課後児童クラブ）

就労により留守になる家庭の児童が放課後や学校休業日に安心安全に過ごせる場を提供しています。自分より年齢が下の子の面倒をみたり、上の子の姿を見て遊びのヒントを得たり、異年齢交流の場にもなっています。



放課後児童クラブ

すくすく倶楽部（小学生対象事業）

教育委員会・公民館を中心に休日体験課外授業として、以下の活動を行っています。

①学校体育授業の補助として運動教室を開催する「すく～る」

運動能力の基礎づくり、スポーツや体を動かすことの楽しさを子どもたちに知ってもらうことを目的に行っています。

②物づくり野外活動体験

学校や家庭ではなかなか体験できない木祖村の自然や資源を活用したメニューを取り入れ、親子や友達同士で楽しんでいます。



すくすく倶楽部（小学生対象事業）

すくすく大学（中学生対象事業）

隔週水曜日の午後2時から放課後を利用して、中学生が複数の講座メニューから選択した地域の方々を講師とする教室に参加しています。季節ごとに講座を変えたり、マレットゴルフや

フィットネスの運動系や英語教室、料理教室、絵手紙等の文化系講座を取り入れ、公民館活動と合わせて実施するなど多世代交流につながる活動をしています。



郷土料理体験

もいちど小中学校

一般成人を対象に小中学校の授業参観をしたり、行事や授業に児童生徒と一緒に参加し、給食の試食や作業なども行う多世代交流の促進を図る事業です。いわば大人の「学校ごっこ」を子ども達と一緒に楽しんでいます。



もいちど小中学校

おおとりの時間

中学校の総合的な学習の時間を活用して地域の伝統文化を学ぶ「藪原祭り」や「お六櫛づくり」、分野を限定しない「人・物との結びつきを深めよう」の3つの活動を行っています。講

師は地域の方々が行っており、地域活動への参加と多世代交流へとつながっています。今では中学校の伝統的な活動として浸透しています。



お六櫛グループ



藪原祭りグループ

健康で安心な村づくり



村民が健康で安心して暮らすため、生活基盤の整備や防災対策、生活弱者への支援や健康を保つための取り組みを進め、元気な村をつくります。



源流夏祭り

毎年7月末に開催される夏祭り。村民の方の参加をはじめ、交流のある下流自治体の方をお招きし踊りや楽器演奏などサークル活動の披露が行われ盛大に賑わっています。同志の交流や上下流交流など地域振興に繋がる行事となっています。



源流夏祭り



むらづくりミーティング

令和4年度で16回の開催となったむらづくりミーティング。

村の実施する主要事業をテーマに村民の方と一緒に村のあり方を考える事業です。



むらづくりミーティング

消防・防災

消防団は地域に根付き村の防災のリーダーとして、平常時は啓発活動、非常時は災害対応にあたり、村民や村内の財産を守るため日々活動しています。



消防出初式分列行進



合同訓練の様子



防災訓練支え合いマップ見直し作業



保育園交通安全教室

交通安全

正しい交通ルールを啓発し、高齢者や子どもの事故防止、シートベルトやチャイルドシートの着用、自転車の安全利用、飲酒運転の根絶、道路標識やカーブミラーなどの整備を進め、交通事故ゼロを目指していきます。

検診受診率向上による疾病予防対策

特定健診（40～74歳国民健康保険加入者）、ヘルスアップ健診（20～39歳）、後期高齢者健診（75歳以上）の受診料無料、各種がん検診重点年齢の受診料無料、部位別個別がん検診（胃がん・大腸がん・肺がん・膵臓がん）受診料の一部補助を行い、疾病の早期発見と予防に努めています。



健康づくり事業

①運動習慣を身につける

誰でも気軽に運動習慣が身につくよう、インターバル速歩教室とノルディックウォーキング教室を開催。健康アプリ「えってこ」も導入し、生活習慣病の予防や体力の向上を目指しています。

②適塩の食習慣を身につける

らくらく適塩教室を開催し、一人ひとりが生活の中に適塩を取り入れ、地域全体に適塩への意識が波及することを目指しています。

③楽しみながら健康づくり

健康ポイント事業を実施し、各種健（検）診への受診および健康づくり教室、健康に関するイベントに参加した際にポイントを付与し、楽しみながら健康づくりに取り組めるよう努めています。



健康づくり事業



(砂) 杣沢

健康アプリ事業

えってこは木祖村健康アプリで、歩数はもちろん距離、消費カロリーも表示します。また日々の健康メッセージ、健康教室や健診の予定も見るすることができます。暑い時期には熱中症予測も表示されます。

減災・防災対策整備

近年の集中豪雨による小河川や山腹からの土砂流出に対する減災防災のための施設整備や事前対策を行っています。

介護予防事業

いつまでも明るく元気な生活を送れるよう、おおむね65歳以上の方々の健康づくりや仲間づくりを目指していきます。マシントレーニング教室はフィットネスマシンを使用した足腰の軽い筋肉トレーニングや全身の運動を行う教室です。まめでいきいき教室は歩行に不安のある方や、動くことが大変になってきたという方を対象に、ストレッチや筋力をつける運動を行います。併せて、脳の血流をよくする簡単な体操も行います。認知機能アップのお役に立ちます。低栄養やフレイルの予防にふれあいクッキングを行っています。男性を対象としたクッキングの日もあります。



そば畑

耕作放棄地の解消について

本村で育つブランド野菜である「御嶽はくさい」や高原野菜は、気候の寒暖差により糖度が高いのが特徴です。畜産業も盛んであることから農地を牧草地として広範に利用することで農地の有効活用が図られています。遊休農地については、肥培管理の容易なそばや雑穀等の栽培を奨励し、耕作放棄地の発生を防ぎます。

森林経営管理制度を活用した森林整備について

長期にわたる山林の荒廃化や世代交代による森林への関心の薄れにより、間伐等の森林管理が必要な山林について、森林経営管理制度を活用して健全な山林となるよう森林整備を推進していきます。

適切な森林整備を進め、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の増進を図ります。

野生鳥獣による農林業被害防止対策について

高齢化や農林業離れによる荒廃地の増加やさまざまな環境の変化により、野生鳥獣が人里近くまで出没しやすくなり、農林業への被害や目撃が増加しています。農作物を野生鳥獣から守るためには、山と人里との明確な区分けが必要です。そのためには明るく開けたスペース（緩衝帯）を設け、野生鳥獣が人里に出にくい環境をつくるのが極めて重要です。緩衝帯整備事業を推進すると共に効果的な防護柵の研究を進めます。



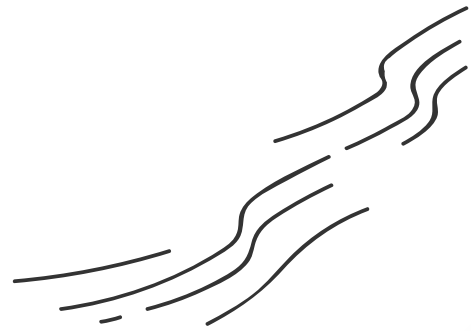
新数原浄水場建設工事

上下水道事業

私たちの生活に欠かせないライフラインである上下水道施設について老朽化対策による水質確保及び安全な水道水源の確保を図りながら、人口減少や有収率の向上に取り組む将来にわたり安全で安心な水環境の提供に取り組んでいます。



下水道事業



菅川橋

道路・橋梁等整備

高度成長期に建設された道路構造物も古いものでは50年以上が経過し、老朽化にともなう長寿命化対策を行っています。特に橋梁については、定期点検を行い計画に基づいて改修工事を行っています。



村道菅線



クリスマスアート作り

公民館 各種講座

高齢者の生きがいづくりや大人の生涯学習の機会として、村内外の技術者や講師を招き、物づくり体験をはじめとした様々な講座を開催しています。技能や知識を身に付けたり、参加者同士の交流が生まれ、村民の暮らしに彩を添えます。



農業体験講座



芸能祭

文化祭（展示会、芸能祭）

令和3年で第48回を迎えた木祖村の伝統行事。展示会は村内5会場で行われ、それぞれの地域住民の特徴やアイデアが活かされた作品が多く並んでいます。

芸能祭では公民館サークルや中学生による音楽やダンス披露がなされています。



展示会





各種スポーツ教室開設

各種スポーツ教室開設

小学生から大人まで各種スポーツ教室を開設しています。

①源流トラッククラブ（小・中学生対象）

陸上競技を中心にスポーツ活動の他レクリエーションなど楽しみながら「陸上競技レベルの向上及び、基礎体力の向上」を目的に実施しています。

②源流スポーツ大学（全村民対象）

「シェイプアップ教室」「体力アップ教室」「エアロビ教室」「ヨガ教室」「水中運動教室」の5教室を開催し、運動やスポーツをするための体づくりや、仲間づくりの場となっています。



村内一周駅伝大会

社会体育

（村内一周駅伝大会、村民体育祭）

昭和34年から、毎年11月3日文化の日に木曾川源流村内一周駅伝大会が開催され、多くの村民や木祖村出身者が帰省し参加をしています。またスポーツの日を中心に体育協会やスポーツ団体主催による村民体育祭（大会）や教室を開催しています。

2023 木祖村勢要覧 資料編

目次

| | |
|--------------|----|
| 第1章 歴史 | 21 |
| 第2章 自然 | 24 |
| 第3章 人口 | 25 |
| 第4章 生活環境・教育 | 27 |
| 第5章 保健・福祉 | 29 |
| 第6章 産業 | 31 |
| 第7章 財政 | 34 |
| 第8章 行政・議会 | 36 |
| 第9章 文化財・公共施設 | 37 |



- お車で**
- 【東京から】**
 ○中央自動車道→塩尻 I.C → R19 …… 約 3 時間 10 分
 ○中央自動車道→伊那 I.C → R361 …… 約 3 時間
- 【名古屋から】**
 ○中央自動車道→中津川 I.C → R19 …… 約 2 時間 30 分
 ○中央自動車道→伊那 I.C → R361 …… 約 2 時間 30 分

- 高速バスで**
- 【東京から】**
 ○新宿→中央自動車道→塩尻 I.C → R19 →やぶほら …… 約 4 時間 10 分

- 電車で**
- 【東京から】**
 ○中央本線→塩尻→中央本線→藪原駅 …… 約 3 時間 30 分
- 【名古屋から】**
 ○中央本線→木曽福島駅→藪原駅 …… 約 1 時間 50 分
- 【大阪から】**
 ○新幹線→名古屋駅→中央本線→木曽福島駅→藪原駅 …… 約 3 時間 30 分

第1章 歴史

| | | | | | |
|--------|------|---|--------|------|--|
| 明応 4年 | 1495 | ・木曾義元が鳥居峠に御獄の鳥居を建てる これより鳥居峠と呼称 | 昭和 31年 | 1956 | ・松本電鉄藪原営業所落成 |
| 天文 2年 | 1533 | ・木曾義在が木曾十一宿を定め藪原宿成立 | 32年 | 1957 | ・木祖村公民館落成(現転作促進研修センターの地、曾根沢) |
| 天正 16年 | 1588 | ・鳥居峠の合戦 | 34年 | 1959 | ・第1回村内一周駅伝大会開催 |
| 元禄 元年 | 1688 | ・松尾芭蕉が通行し、「更級紀行」を残す | 39年 | 1964 | ・藪原営林署改築 ・木祖村商工会発足 |
| 16年 | 1703 | ・木櫛の生産が始まる | 40年 | 1965 | ・菅分校が木祖小学校に統合 |
| 享保 元年 | 1716 | ・中仙道を中山道と改める | 41年 | 1966 | ・木祖村総合庁舎新築落成 ・木祖村有線放送施設完成 ・NHK テレビサテライト局開局 |
| 2年 | 1717 | ・お六櫛の製造が盛んになる | 42年 | 1967 | ・木祖中学校前の国道に藪原歩道橋完成 ・木曾街道駅伝競走で木祖村チーム優勝 |
| 文化 7年 | 1810 | ・山東京伝が「お六櫛仇討物語」を著し、お六櫛の名が全国に知られる | 43年 | 1968 | ・中央西線鳥居トンネル竣工 |
| 明治 7年 | 1874 | ・藪原、荻曾、菅の3村が合併し木祖村誕生 | 46年 | 1971 | ・第1回早起き野球開催 ・村章を制定 ・鳥居峠を通る中山道ルートが県の信濃路自然歩道に指定 |
| 13年 | 1880 | ・明治天皇、鳥居峠峰の茶屋に御野立、藪原本陣で御小休 | 47年 | 1972 | ・藪原バイパス開通 |
| 17年 | 1884 | ・木祖村は、藪原村、小木曾村、菅村に分村 | 48年 | 1973 | ・「お六櫛手挽き技法」長野県選択無形文化財に指定 ・木祖村民センター落成 ・小木曾分校が木祖小学校に統合 ・味噌川ダム事業着手 ・木祖村教育委員会「木曾の鳥居峠」発刊 ・鳥居峠を木祖村史跡に指定 ・木祖村お六櫛保存会発足 |
| 22年 | 1889 | ・藪原、小木曾、菅の3村は、再び合併し木祖村となる | 49年 | 1974 | ・木祖村郷土館落成 ・藪原保育所改築落成、菅保育所統合 ・木祖村体育協会発足 ・木祖村有線放送施設自動化 ・木祖村商工会館落成 |
| 29年 | 1896 | ・日清戦争終結。戦没者1名 | 50年 | 1975 | ・小木曾保育所改築落成 |
| 38年 | 1905 | ・日露戦争終結。戦没者7名 | 53年 | 1978 | ・国道新鳥居トンネル開通(全長1760m) ・木祖村老人福祉センター落成 |
| 43年 | 1910 | ・中央線鳥居トンネル開通(全長1673m) ・藪原駅、宮ノ越駅ともに営業開始 | 55年 | 1980 | ・木祖中学校全面改築完了 ・鳥居峠が県の自然環境保全地域に指定 ・木祖村転作促進研修センター落成 ・やぶはら高原日曜画家の村を宣言し、シンボルマーク制定 |
| 44年 | 1911 | ・木祖村青年会創立 | 57年 | 1982 | ・「お六櫛」長野県伝統的工芸品に指定 ・木曾森林組合発足 ・県道奈川木祖線小木曾バイパス新笹川橋完成 ・第1回鳥居峠俳句大会 |
| 大正 13年 | 1924 | ・横水に役場庁舎竣工 | | | |
| 14年 | 1925 | ・木祖村消防組発足 | | | |
| 昭和 3年 | 1928 | ・鳥居峠が信濃十名所の一つに選定 | | | |
| 5年 | 1930 | ・藪原スキー場開設 | | | |
| 8年 | 1933 | ・鳥居峠が長野県史跡名所に指定 | | | |
| 20年 | 1945 | ・太平洋戦争終結 | | | |
| 22年 | 1947 | ・学制改革に伴う新制中学校、木祖村立木祖中学校開校 | | | |
| 28年 | 1953 | ・木祖村教育委員会発足 | | | |
| 30年 | 1955 | ・国道19号鳥居トンネル開通(全長1111m 総工費3億円) | | | |

第1章 歴史

| | | | | | |
|---------|------|---|--------|------|---|
| 昭和 58 年 | 1983 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖小学校全面改築完了 ・台風 10 号による集中豪雨で、大被害発生 | 平成 9 年 | 1997 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村弓道場「源流館」竣工 ・宮の森タウン完成宅地分譲開始 ・飯米原土地改良事業「豊穰の里」完成 ・木曾川上下流記念行事開催 |
| 59 年 | 1984 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育館落成 ・保健センター落成 ・山村振興センター落成 ・木祖村教育委員会「木祖村の石造文化財」刊行 | 10 年 | 1998 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村誌「自然編」刊行 ・長野オリンピック冬季大会 ・長野パラリンピック冬季大会 ・第 3 次木祖村総合計画策定 ・木曾川上下流記念行事が「森と湖に親しむイベント大賞」受賞 ・村道菅線前面改良完成「きさらぎの道」 ・大平地区農業集落排水処理施設完成 ・木祖村誌「民俗編」刊行 |
| 61 年 | 1986 | <ul style="list-style-type: none"> ・「こだまの森」オープン ・木祖村教育委員会「木祖村の文化財めぐり」刊行 ・やぶはら高原の第 1 回イベントマラソン・いわな釣り・日曜画家中部日本大会・俳句の各大会 ・味噌川ダム定礎式 ・鳥居峠「木曾三川三十六景」「長野の自然百選」10 年選定 | 11 年 | 1999 | <ul style="list-style-type: none"> ・有線放送が廃止 同報無線での広報開始 ・木祖村誌「歴史編(上)」発刊 ・優良町村表彰を受賞 ・園児送迎バス運行開始 ・交流促進施設「ほのぼのハウス」オープン ・高齢者自立支援住宅完成 |
| 平成 元年 | 1989 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村が水源功労で国土庁長官表彰を受ける ・木祖村役場、土曜閉庁実施(第 2・第 4 土曜日) ・村道菅線新菅橋落橋 | 13 年 | 2001 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村誌「歴史編(下)」発刊 全 4 巻完結 ・木祖浄化センター完成 ・第 15 回やぶはら高原ハーフマラソン大会開催 大会を記念して浅利純子選手を招待 ・町並集会施設「ときわ」完成 ・備勢橋竣工 |
| 2 年 | 1990 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村無形文化財、お六櫛の手挽き技法指定 技術保持者に川口助一氏が認定 | 14 年 | 2002 | <ul style="list-style-type: none"> ・菅地区下水道処理施設完成 ・友好自治体提携 10 周年記念 木祖村・愛知県日進市合同植樹祭 ・木祖村過疎地域自立促進計画(前期)策定 |
| 3 年 | 1991 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村村民憲章制定 村木「とちのき」村花「りんどう」指定 ・立村 100 周年、写真集「木祖村の百年」刊行 ・木祖村防災行政連絡無線設置 | 15 年 | 2003 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村後期基本計画策定 ・こもれび公園完成 ・村内一周駅伝大会第 45 回記念大会開催 |
| 4 年 | 1992 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県日進町と友好提携 | 16 年 | 2004 | <ul style="list-style-type: none"> ・とちのみ保育園、子育て支援センターみやのもり竣工 ・町村合併意向調査の結果、自立のむらを選択 ・木曾川源流の里 むらづくり協議会がスタート ・木祖村、日進市商工会友好姉妹提携 15 周年記念式典開催 |
| 5 年 | 1993 | <ul style="list-style-type: none"> ・味噌川ダム堤体完成 ・村誌編さん事業着手 ・村道菅線菅橋落成 ・「平成日進の森林」設置 | 17 年 | 2005 | <ul style="list-style-type: none"> ・木曾川源流の里 木祖村自立プラン策定 ・こだまの森の運営を指定管理者とする ・やぶはら高原スキー場が民営一本化 ・村内 3 地区で地域自治協議会が立ち上がる |
| 6 年 | 1994 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村警察官駐在所移転 ・木祖村防災行政無線戸別受信機設置開始 ・木祖村表彰条例制定 ・国道 19 号向吉田バイパス竣工 ・スキー場サービスステーション竣工 | 18 年 | 2006 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「ひまわり号」運行開始 ・梅雨前線による集中豪雨に伴い、村内各所で被害 ・木曾川さみっと開催 |
| 7 年 | 1995 | <ul style="list-style-type: none"> ・水木沢天然林「郷土の森」竣工 ・特養老ホーム「サニーヒルきそ」起工式 ・川口助一氏が人間国宝に認定 ・県企業局奥木曾発電所竣工 | | | |
| 8 年 | 1996 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシー「木祖村福祉ふれあい号」運行開始 ・ふれあいセンターはなのき開所 ・特養老ホーム「サニーヒルきそ」竣工 ・「デイサービスセンターそほく」竣工 ・在宅介護支援センターそほく」竣工 ・菅消防コミュニティセンター完成 ・木曾川水系濁水対応味噌川ダム緊急放流 ・水資源開発公団味噌川ダム竣工 ・第 10 回やぶはら高原ハーフマラソン大会日本陸連公認コースで開催 | | | |

| | | | | | |
|---------|------|--|---------|------|--|
| 平成 19 年 | 2007 | <ul style="list-style-type: none"> ・CATV 村内整備 ・木祖村源流の森林育成基金の創設 ・台風 4 号により、第 21 回やぶはら高原ハーフマラソン大会中止 ・木祖村、日進市友好姉妹提携 15 周年記念 | 平成 28 年 | 2016 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村アンテナショップリニューアルオープン式典開催 ・第 30 回記念やぶはら高原イワナ釣り大会開催 ・(株)スミ設備・木祖村緑化交流事業 10 周年記念式典開催 ・味噌川ダム管理開始 20 周年記念桜植樹式開催 ・第 30 回記念やぶはら高原ハーフマラソン大会開催 大会を記念して千葉真子選手を招待 ・第 30 回記念全国日曜画家中部日本展開催 ・木曾川さみっと in 木祖村開催 |
| 20 年 | 2008 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村名古屋出張所開所 ・木祖村イメージキャラクター源気くん決定 ・第 9 回全国源流シンポジウム開催 ・水木沢天然林が「平成の水」百選に認定される ・西山ほ場整備事業竣工 ・第 50 回木曾川源流村内一周駅伝大会開催 ・木祖村アンテナショップを開設 | 29 年 | 2017 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会を一般社団法人化 ・東京農大と包括連携協定(産業振興・地域づくり等)を締結 ・木祖村誌「補遺版」を発行 |
| 21 年 | 2009 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村地域図書館「源流図書館」を開館 ・こだまの森多目的グラウンドを造成 ・コミュニティバス「ひまわり号」休日の試行運行を実施 | 30 年 | 2018 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風 21 号により初の避難勧告を発令 ・第 5 次総合計画を策定 |
| 22 年 | 2010 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報きそ 300 号を発行 ・農産物直売所「げんき屋」オープン ・東海地区木祖村人会が発足 | 令和 元年 | 2019 | <ul style="list-style-type: none"> ・木祖村開村 130 周年記念事業開催(村歌「源流よ永遠に」制定) ・木祖村農産物加工センター竣工 ・国道 19 号数原交差点改良右折レーン設置 |
| 23 年 | 2011 | <ul style="list-style-type: none"> ・木曾郡消防ポンプ操法大会で第 4 分団が優勝 ・ダイヤモンド交通「たんぼぼ号」本格運行開始 ・第 25 回記念やぶはら高原ハーフマラソン大会開催 大会を記念して嶋原清子選手を招待 ・きそむらふるさと大使に上野和彦さんが任命 | 2 年 | 2020 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定 ・7 月豪雨災害により初めて全村に避難指示発令 ・木祖村気候非常事態を宣言 |
| 24 年 | 2012 | <ul style="list-style-type: none"> ・友好自治体提携 20 周年記念木祖村・日進市合同育樹祭を実施 ・木祖村自然エネルギー協議会発足 ・とちのみ保育園に公共施設第 1 号太陽光発電システム設置 | 3 年 | 2021 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設「幸せテラス まめのわ」完成 ・やぶはら高原スキー場今後の方向性決まる ・木祖村地球温暖化対策実行計画を策定 |
| 25 年 | 2013 | <ul style="list-style-type: none"> ・村内街路灯を蛍光灯から LED 灯に置換えを実施 ・地域交流施設青年の家県産材を活用して建設 ・第 40 回記念木祖村文化祭展示会と芸能祭を開催 ・第 55 回木曾川源流村内一周駅伝大会開催 ・三重県木曾岬町との交流事業開始 | 4 年 | 2022 | <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市との交流の森整備協定調印 ・唐澤一寛前村長退任、奥原秀一新村政スタート ・寺平祈愛さん全中陸上競技女子 100m 優勝 |
| 26 年 | 2014 | <ul style="list-style-type: none"> ・水の絆協力隊(地域おこし協力隊)活動開始 ・第 15 回源流夏祭り開催 ・花の木橋竣工 ・数原宿にぎわい広場笑ん館建設 ・げんきふれあい交流施設ねぎや建設 | | | |
| 27 年 | 2015 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 20 回 サマー キャンプ inKISOGAWA を開催 ・空家バンク制度スタート ・第 10 回数原地域 町並みの雪灯り開催 | | | |

第2章 自然

地目別面積

| 区分 | 区分 (km ²) | | | | | | | 総面積 |
|---------|-----------------------|---|------|-----|-----|-----|-------|-------|
| | 田 | 畑 | 山林 | 原野 | 宅地 | その他 | 非課税地 | |
| 平成 30 年 | 1.2 | 2 | 27.7 | 0.4 | 0.8 | 2.1 | 106.3 | 140.5 |
| 平成 31 年 | 1.2 | 2 | 27.7 | 0.4 | 0.8 | 2.1 | 106.3 | 140.5 |
| 令和 2 年 | 1.2 | 2 | 27.7 | 0.4 | 0.8 | 2.1 | 106.3 | 140.5 |
| 令和 3 年 | 1.2 | 2 | 27.6 | 0.4 | 0.8 | 2.1 | 106.4 | 140.5 |
| 令和 4 年 | 1.2 | 2 | 27.6 | 0.4 | 0.8 | 2.1 | 106.4 | 140.5 |

(資料：土地に関する概要調書より 各年 1 月 1 日現在)

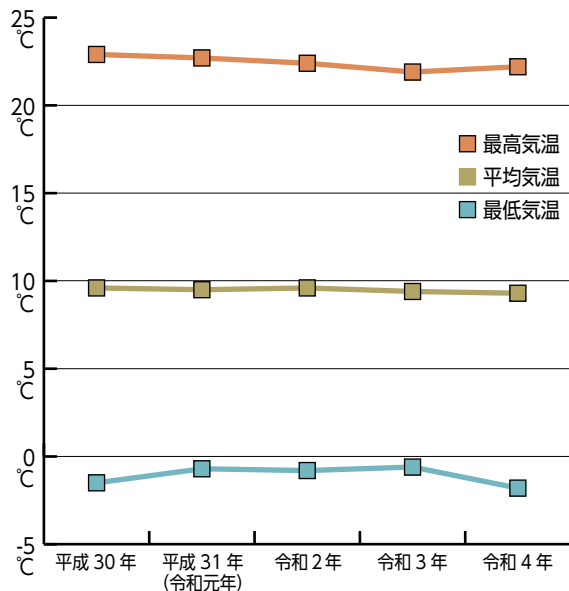
気 温

| | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------------------|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 平成 30 年 | 平均気温 | -4.1 | -4.1 | 3.7 | 9.5 | 13.5 | 17.2 | 22.8 | 22.0 | 16.7 | 11.4 | 6.5 | 0.4 |
| | 最高気温 | 7.7 | 9.6 | 20.9 | 28.3 | 27.3 | 28.9 | 33.9 | 36.0 | 26.1 | 24.4 | 18.6 | 13.1 |
| | 最低気温 | -13.6 | -16.0 | -6.4 | -3.7 | -1.3 | 8.1 | 15.3 | 9.8 | 7.3 | -0.8 | -5.4 | -11.1 |
| 平成 31 年 (令和元年) | 平均気温 | -3.2 | -0.7 | 2.1 | 6.3 | 13.4 | 15.9 | 19.8 | 22.1 | 18.7 | 12.8 | 5.8 | 1.5 |
| | 最高気温 | 6.3 | 12.9 | 18.8 | 24.0 | 30.7 | 27.6 | 30.6 | 32.4 | 30.2 | 26.3 | 20.1 | 12.5 |
| | 最低気温 | -12.7 | -11.3 | -8.1 | -6.6 | -2.5 | 6.9 | 14.1 | 12.7 | 8.2 | 4.0 | -5.1 | -7.5 |
| 令和 2 年 | 平均気温 | -0.2 | -0.8 | 3.0 | 5.8 | 13.9 | 18.0 | 18.7 | 22.5 | 18.3 | 10.2 | 6.3 | -0.2 |
| | 最高気温 | 10.9 | 12.3 | 19.3 | 21.6 | 28.4 | 29.6 | 29.4 | 34.1 | 29.7 | 22.6 | 18.0 | 12.9 |
| | 最低気温 | -9.3 | -14.6 | -10.3 | -4.9 | -0.6 | 9.5 | 13.5 | 14.0 | 7.7 | -0.9 | -3.7 | -10.0 |
| 令和 3 年 | 平均気温 | -2.9 | -0.7 | 4.8 | 7.8 | 12.6 | 16.8 | 20.7 | 20.7 | 17.1 | 11.6 | 4.8 | -0.4 |
| | 最高気温 | 9.6 | 13.9 | 21.4 | 20.7 | 25.8 | 27.8 | 30.8 | 31.6 | 26.3 | 24.9 | 17.5 | 12.2 |
| | 最低気温 | -12.5 | -10.5 | -5.3 | -4.8 | -1.1 | 7.8 | 13.7 | 14.1 | 9.6 | -1.4 | -6.3 | -10.7 |
| 令和 4 年 | 平均気温 | -4.6 | -4.1 | 3.0 | 9.9 | 12.9 | 17.3 | 21.0 | 21.4 | 19.1 | 10.4 | 6.6 | -1.4 |
| | 最高気温 | 6.2 | 7.0 | 18.5 | 26.8 | 28.9 | 32.0 | 33.5 | 31.8 | 28.5 | 23.3 | 17.7 | 11.9 |
| | 最低気温 | -15.8 | -14.1 | -8.3 | -6.8 | -1.8 | 5.3 | 14.3 | 12.4 | 8.5 | -2.5 | -2.7 | -10.3 |

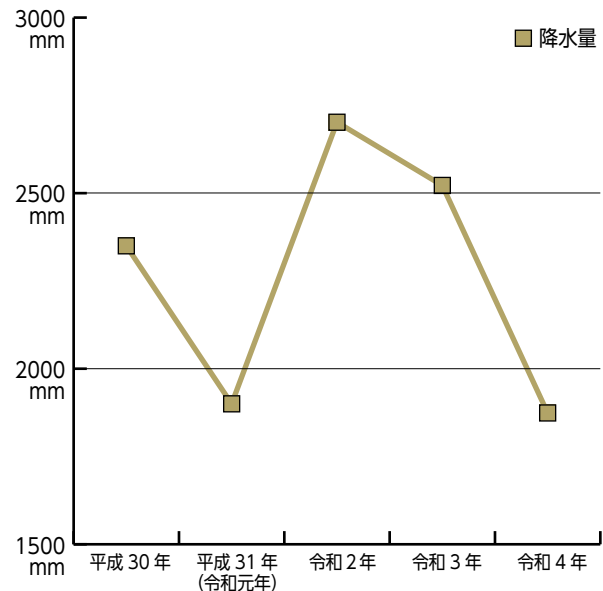
湿度・降水量

| | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成 30 年 | 平均湿度 | 70.7 | 66.2 | 68.8 | 9.5 | 71.7 | 77.5 | 79.8 | 84.7 | 91.4 | 83.7 | 76.1 | 76.5 |
| | 積算雨量 | 125.0 | 24.0 | 206.0 | 266.0 | 249.0 | 226.0 | 311.0 | 185.0 | 544.0 | 64.0 | 27.0 | 123.0 |
| 平成 31 年 (令和元年) | 平均湿度 | 69.1 | 69.9 | 70.9 | 69.0 | 65.7 | 85.8 | 91.5 | 87.0 | 87.7 | 90.8 | 79.0 | 78.4 |
| | 積算雨量 | 20.0 | 66.0 | 111.0 | 119.0 | 111.0 | 310.0 | 289.0 | 285.0 | 33.0 | 410.0 | 52.0 | 94.0 |
| 令和 2 年 | 平均湿度 | 77.3 | 72.1 | 72.4 | 66.1 | 74.4 | 84.6 | 96.7 | 87.3 | 90.3 | 88.1 | 78.9 | 77.4 |
| | 積算雨量 | 106.0 | 117.0 | 134.0 | 120.0 | 118.0 | 398.0 | 1064.0 | 58.0 | 163.0 | 270.0 | 113.0 | 41.0 |
| 令和 3 年 | 平均湿度 | 82.7 | 71.5 | 76.2 | 70.4 | 77.6 | 85.3 | 91.7 | 93.1 | 92.5 | 89.0 | 82.7 | 83.6 |
| | 積算雨量 | 78.0 | 68.0 | 172.0 | 197.0 | 365.0 | 149.0 | 248.0 | 715.0 | 253.0 | 79.0 | 67.0 | 131.0 |
| 令和 4 年 | 平均湿度 | 78.4 | 77.3 | 74.2 | 78.6 | 78.3 | 88.0 | 92.8 | 31.0 | 93.8 | 90.4 | 86.7 | 86.1 |
| | 積算雨量 | 38.0 | 81.0 | 115.0 | 281.0 | 112.0 | 94.0 | 250.0 | 276.0 | 327.0 | 98.0 | 149.0 | 53.0 |

気温の推移



降水量の推移



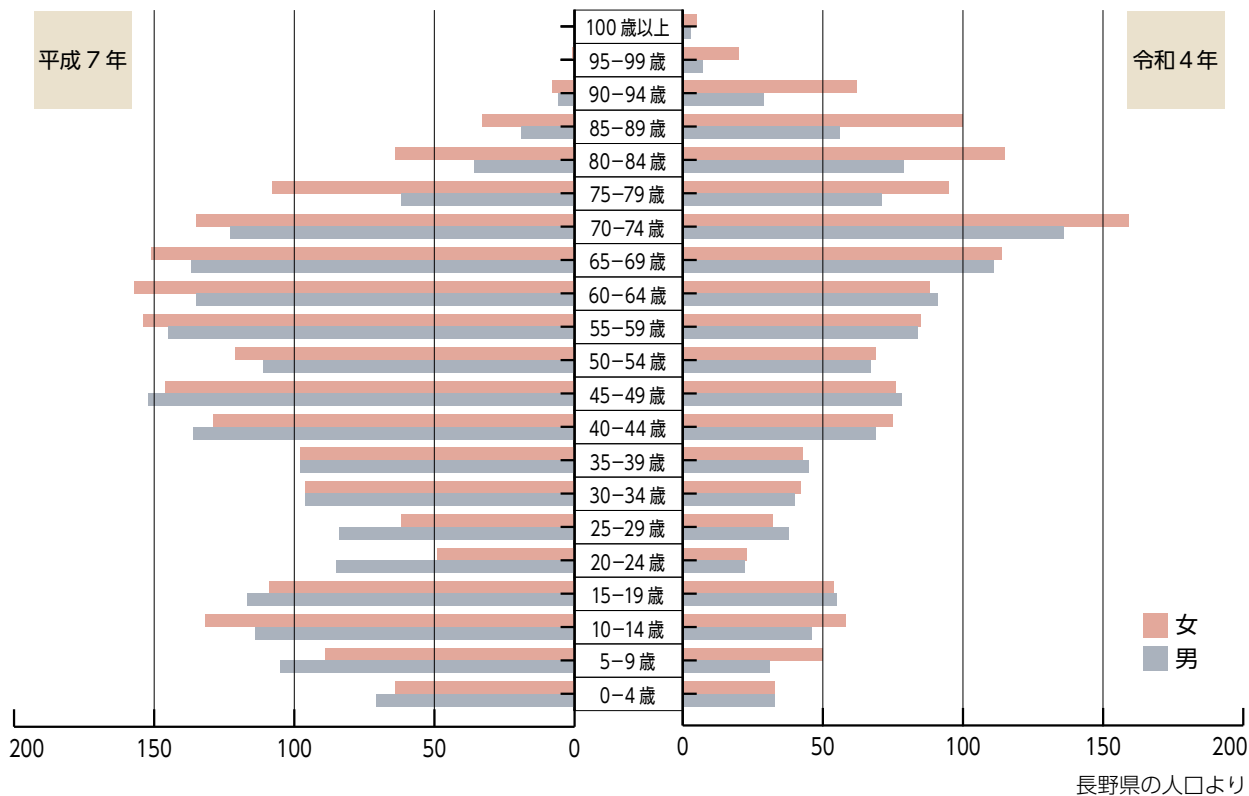
第3章 人口

人口の推移

| 区分 年次 | 世帯数 | 人口 | | | 指標 (平成2年を 100とした数値) | 1世帯当居住数 | 人口密度 |
|----------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|---------|------|
| | | 総数 | 男 | 女 | | | |
| 昭和5年 | 848 | 4,210 | 2,143 | 2,067 | 97.9% | 5.0 | 30.6 |
| 昭和10年 | 834 | 4,134 | 2,002 | 2,132 | 96.1% | 5.0 | 30.0 |
| 昭和15年 | 848 | 4,362 | 2,173 | 2,189 | 101.4% | 5.1 | 31.7 |
| 昭和20年 | 947 | 4,832 | 2,284 | 2,548 | 112.4% | 5.1 | 35.1 |
| 昭和25年 | 950 | 5,010 | 2,428 | 2,582 | 116.5% | 5.3 | 36.4 |
| 昭和30年 | 1,016 | 5,069 | 2,443 | 2,626 | 117.9% | 5.0 | 36.8 |
| 昭和35年 | 1,042 | 4,899 | 2,368 | 2,531 | 113.9% | 4.7 | 35.6 |
| 昭和40年 | 1,121 | 5,011 | 2,492 | 2,519 | 116.5% | 4.5 | 36.4 |
| 昭和45年 | 1,103 | 4,375 | 2,109 | 2,266 | 101.7% | 4.0 | 31.8 |
| 昭和50年 | 1,117 | 4,317 | 2,147 | 2,170 | 100.4% | 3.9 | 31.8 |
| 昭和55年 | 1,114 | 4,190 | 2,045 | 2,145 | 97.4% | 3.8 | 30.4 |
| 昭和60年 | 1,364 | 4,318 | 2,232 | 2,086 | 100.4% | 3.2 | 31.4 |
| 平成2年 | 1,495 | 4,300 | 2,280 | 2,020 | 100.0% | 2.9 | 30.6 |
| 平成7年 | 1,114 | 3,738 | 1,832 | 1,906 | 86.9% | 3.4 | 26.6 |
| 平成12年 | 1,127 | 3,596 | 1,746 | 1,850 | 83.6% | 3.2 | 25.6 |
| 平成17年 | 1,116 | 3,361 | 1,598 | 1,763 | 78.2% | 3.0 | 23.9 |
| 平成22年 | 1,069 | 3,134 | 1,448 | 1,686 | 72.9% | 2.9 | 22.3 |
| 平成27年 | 1,045 | 2,926 | 1,355 | 1,571 | 68.0% | 2.8 | 20.8 |
| 令和2年 | 1,013 | 2,692 | 1,235 | 1,457 | 62.6% | 2.7 | 19.2 |
| 令和4年 | 999 | 2,571 | 1,183 | 1,388 | 59.8% | - | 18.3 |

国勢調査（各年10月1日現在）令和4年は長野県の人口より

年齢別人口の推移



地区別人口の推移

| 区分 | 平成 29 年 (5 年前) | | | | 令和 4 年 | | | | 増減 (令和 4 年 - 平成 29 年) | | | |
|-----|----------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-----------------------|-------|-------|-------|
| | 世帯数 | 人口 | | | 世帯数 | 人口 | | | 世帯数 | 人口 | | |
| | | 総数 | 男 | 女 | | 総数 | 男 | 女 | | 総数 | 男 | 女 |
| 総数 | 1,134 | 2,988 | 1,394 | 1,594 | 1,106 | 2,693 | 1,259 | 1,434 | △ 28 | △ 295 | △ 135 | △ 160 |
| 藪原 | 583 | 1,400 | 652 | 748 | 561 | 1,289 | 603 | 686 | △ 22 | △ 111 | △ 49 | △ 62 |
| 小木曾 | 382 | 1,146 | 545 | 601 | 379 | 1,021 | 474 | 547 | △ 3 | △ 125 | △ 71 | △ 54 |
| 菅 | 169 | 442 | 197 | 245 | 166 | 383 | 182 | 201 | △ 3 | △ 59 | △ 15 | △ 44 |

(3月31日現在住民基本台帳人口)

人口動態の推移

| 区分 | 年次 | 昭和 55 年 | 平成 14 年 | 平成 25 年 | 令和 2 年 | 令和 3 年 | 令和 4 年 |
|------|-----|---------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | | 自然動態 | 出生 | 58 | 29 | 15 | 10 |
| | 死亡 | 36 | 45 | 67 | 71 | 60 | 52 |
| 社会動態 | 転入 | 149 | 121 | 78 | 56 | 47 | 44 |
| | 転出 | 167 | 146 | 75 | 59 | 53 | 66 |
| | 増 減 | 4 | △ 41 | △ 49 | △ 64 | △ 57 | △ 66 |

(各年 3 月 31 日現在)



第4章 生活環境・教育

消防設備

| 種類 | 分団別 | | | | | | 機動隊 | ラッパ隊 | 機能別消防団 | 計 |
|--------------|-----|----|----|----|----|----|-----|------|--------|-----|
| | | 本部 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | |
| 団員数 | | 13 | 14 | 21 | 38 | 15 | 12 | 8 | | 121 |
| 機能別消防団員数 | | | 8 | 10 | 7 | 5 | 4 | 5 | | 39 |
| 消防指令車 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 自動車ポンプ | | | 1 | 1 | | | | | | 2 |
| 可搬式動力ポンプ | | | | | | | | | | 0 |
| 動力ポンプ付積載車 | | | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | | | 8 |
| 防火貯水槽(10㎡以上) | | | 18 | 13 | 38 | 10 | 4 | | | 83 |
| 消火栓(公認) | | | 50 | 35 | 96 | 60 | 26 | | | 267 |

(令和5年1月1日現在)

道路

| | 総延長(m) | 改良済み延長(m) | 舗装済み延長(m) | 舗装率(%) |
|----|-----------|-----------|-----------|--------|
| 道路 | 117,400.4 | 79,001.3 | 100,603.4 | 85.7% |

| | 橋数 | 延長 |
|----|----|--------|
| 橋梁 | 89 | 1793.5 |

(令和4年3月31日現在)

簡易水道

| 給水人口 | | 簡易水道 | | 配水量 | |
|--------|--------|------|--------|--------|----------|
| 現在 | 計画 | 施設数 | 給水人口 | 一日平均 | 年間 |
| 2,688人 | 2,700人 | 25 | 2,688人 | 1,511㎡ | 550,997㎡ |

(令和4年3月31日現在)

下水道

| 事業区分 | 処理区域面積 | 区域内人口(人) | 整備済人口(人) | 普及率(%) | 水洗化人口(人) | 水洗化率(%) |
|--------|--------|----------|----------|---------|----------|---------|
| 公共下水道 | 73 | 1,811 | 1,811 | 100.00% | 1,659 | 91.61% |
| 農業集落排水 | 18 | 293 | 293 | 100.00% | 264 | 90.10% |
| 浄化槽 | 15 | 589 | 504 | 85.57% | 504 | 85.57% |
| 合計 | 106 | 2,693 | 2,608 | 96.84% | 2,427 | 90.12% |

(令和4年3月31日現在)

木祖小学校児童数の推移

| 年度 | 児童数 | | | 学級数 | 令和4年度 学年別児童数(人) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|----|----|-----|-----------------|---|----|----|----|---|----|---|----|----|----|----|----|---|----|----|---|----|
| | 総数 | 男 | 女 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | | | | | | |
| 平成30年度 | 137 | 62 | 75 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度 | 126 | 53 | 73 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和2年度 | 123 | 52 | 71 | 8 | 計 | | 計 | | 計 | | 計 | | 計 | | 計 | | | | | | | |
| 令和3年度 | 112 | 47 | 65 | 8 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | | | | | | |
| 令和4年度 | 114 | 44 | 70 | 8 | 22 | 8 | 14 | 13 | 6 | 7 | 17 | 8 | 9 | 20 | 6 | 14 | 20 | 7 | 13 | 22 | 9 | 13 |

(資料：学校基本調査)

木祖中学校生徒数の推移

| 区分 年度 | 生徒数 | | | 学級数 | 令和4年度 学年別生徒数 (人) | | | | | | | | |
|----------|-----|----|----|-----|------------------|----|---|----|---|----|----|---|----|
| | 総数 | 男 | 女 | | 1年 | | | 2年 | | | 3年 | | |
| | | | | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | |
| 平成30年度 | 66 | 31 | 35 | 4 | | | | | | | | | |
| 令和元年度 | 73 | 34 | 39 | 5 | | | | | | | | | |
| 令和2年度 | 72 | 33 | 39 | 5 | | | | | | | | | |
| 令和3年度 | 65 | 29 | 36 | 5 | | | | | | | | | |
| 令和4年度 | 57 | 25 | 32 | 5 | 18 | 10 | 8 | 19 | 7 | 12 | 20 | 8 | 12 |

(資料：学校基本調査)

木曾広域ケーブルテレビ加入状況

| 契約区分 | | 基本契約 | | | | | | | | オプション契約 | | | | | 050 I P 電話 | |
|--------|----|---------|-----------|-----|-------|-------|------|----|-------|---------------|------------------|-----------------|-------|-----|------------------|----|
| | | ケーブルテレビ | | | | | | | | インターネット | | | | | | |
| | | 一般世帯 | 賃貸住宅、家主払い | 別荘等 | 個人事業所 | 法人事業所 | 公的機関 | 減免 | 合計 | 光1M (ライト0.5M) | 光15M (スタンダード15M) | 光30M (アドバンス30M) | 光300M | 光1G | | 合計 |
| 平成30年度 | 4月 | 1,024 | 73 | 33 | 19 | 23 | 36 | 7 | 1,215 | 141 | 188 | 1 | 0 | 0 | 330 | 5 |
| 令和元年度 | 4月 | 1,009 | 83 | 32 | 19 | 23 | 39 | 7 | 1,212 | 132 | 185 | 1 | 0 | 0 | 318 | 5 |
| 令和2年度 | 4月 | 1,005 | 79 | 31 | 18 | 22 | 41 | 6 | 1,202 | 125 | 177 | 1 | 15 | 9 | 327 | 7 |
| 令和3年度 | 4月 | 1,006 | 83 | 29 | 16 | 24 | 37 | 4 | 1,199 | 110 | 170 | 1 | 42 | 27 | 350 | 6 |
| 令和4年度 | 4月 | 1,006 | 86 | 29 | 16 | 25 | 37 | 3 | 1,202 | 96 | 174 | 1 | 51 | 38 | 360 | 5 |

地域コミュニティバス「ひまわり号」運行実績

| | 平日便利利用者数 | 内定期券利用者 | 夏期休日便 | 内水木沢天然林利用者 | 冬期休日便 | 内スキー場利用者 |
|--------|----------|---------|-------|------------|-------|----------|
| 平成29年度 | 17,075 | 9,132 | 813 | 65 | 764 | 438 |
| 平成30年度 | 15,045 | 9,278 | 546 | 42 | 761 | 438 |
| 令和元年度 | 11,526 | 7,138 | 619 | 31 | 497 | 194 |
| 令和2年度 | 9,171 | 6,108 | 367 | 0 | 441 | 289 |
| 令和3年度 | 10,375 | 6,856 | 414 | 4 | 702 | 476 |

デマンド型交通システム「たんぼぼ号」運行実績

| | 一般村民 | 高齢者定期券 | 高校生 | 中学生以下 | 計 |
|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 平成29年度 | 1,486 | 49 | 728 | 3,526 | 5,789 |
| 平成30年度 | 1,872 | 1,890 | 755 | 2,984 | 7,501 |
| 令和元年度 | 1,063 | 3,456 | 1,016 | 2,515 | 8,050 |
| 令和2年度 | 873 | 2,988 | 632 | 2,151 | 6,644 |
| 令和3年度 | 970 | 3,196 | 840 | 3,010 | 8,016 |

福祉タクシー運行実績

| | 回数券利用 | 定期券利用 | 計 |
|--------|-------|-------|-------|
| 平成29年度 | 1,555 | - | 1,555 |
| 平成30年度 | 626 | 1,254 | 1,880 |
| 令和元年度 | 379 | 1,655 | 2,034 |
| 令和2年度 | 166 | 1,861 | 2,027 |
| 令和3年度 | 406 | 1,568 | 1,974 |

第5章 保健・福祉

国民健康保険加入・給付状況

| 年度 | 区分 | 被保険者数 | 加入率 (%) | 保険税 (円) | | 療養給付費用額 (円) | |
|--------|----|-------|---------|---------|---------|-------------|---------|
| | | | | 1世帯当 | 1人当 | 1世帯当 | 1人当 |
| 平成29年度 | | 646 | 22.09% | 155,945 | 98,733 | 627,995 | 397,600 |
| 平成30年度 | | 666 | 23.15% | 159,642 | 99,956 | 561,001 | 351,257 |
| 令和元年度 | | 652 | 23.19% | 181,269 | 112,876 | 572,138 | 356,270 |
| 令和2年度 | | 660 | 23.97% | 157,905 | 96,418 | 713,957 | 435,947 |
| 令和3年度 | | 649 | 24.10% | 159,025 | 101,198 | 733,126 | 466,535 |

国民健康保険給付状況

| 区分 | 年度 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|--------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額(千円) | 件数 | 金額(千円) |
| 療養給付費 | 件数 | 10,846 | | 11,448 | | 11,151 | | 10,063 | | 10,846 | |
| | 金額(千円) | 187,064 | | 169,524 | | 169,210 | | 208,639 | | 220,827 | |
| 療養費 | 件数 | 323 | | 324 | | 293 | | 274 | | 300 | |
| | 金額(千円) | 1,485 | | 1,584 | | 1,425 | | 1,279 | | 2,171 | |
| 高額療養費 | 件数 | 439 | | 412 | | 391 | | 407 | | 551 | |
| | 金額(千円) | 26,921 | | 22,080 | | 22,497 | | 34,802 | | 37,418 | |
| 出産育児諸費 | 件数 | 4 | | 3 | | 0 | | 2 | | 0 | |
| | 金額(千円) | 1,664 | | 1,244 | | 0 | | 824 | | 0 | |
| 葬祭諸費 | 件数 | 6 | | 4 | | 6 | | 5 | | 7 | |
| | 金額(千円) | 300 | | 200 | | 300 | | 250 | | 350 | |

国民年金

| 年度 | 区分 | 第1号被保険者数 | | 第3号被保険者数 | 計 | 老齢年金受給状況 | | 障害・遺族年金受給状況 | | 福祉年金受給状況 | |
|--------|----|----------|----|----------|-----|----------|---------|-------------|---------|----------|---------|
| | | 強制 | 任意 | | | 人数 | 年金額(千円) | 人数 | 年金額(千円) | 人数 | 年金額(千円) |
| 平成29年度 | | 291 | 0 | 124 | 415 | 1,166 | 824,850 | 64 | 54,129 | 0 | 0 |
| 平成30年度 | | 303 | 0 | 116 | 419 | 1,173 | 834,886 | 66 | 55,808 | 0 | 0 |
| 令和元年度 | | 279 | 1 | 108 | 388 | 1,156 | 827,604 | 64 | 53,495 | 0 | 0 |
| 令和2年度 | | 275 | 1 | 99 | 375 | 1,144 | 827,004 | 69 | 57,972 | 0 | 0 |
| 令和3年度 | | 252 | 2 | 95 | 349 | 1,146 | 830,139 | 70 | 58,889 | 0 | 0 |

保育所園児数

| 年度 | 区分 | 園児数 | 未満児 | 年少 | 年中 | 年長 |
|--------|----|-----|-----|----|----|----|
| 平成30年度 | | 64 | 10 | 17 | 18 | 19 |
| 令和元年度 | | 61 | 8 | 21 | 15 | 17 |
| 令和2年度 | | 62 | 18 | 9 | 21 | 14 |
| 令和3年度 | | 62 | 15 | 17 | 9 | 21 |
| 令和4年度 | | 54 | 12 | 18 | 16 | 8 |

(各年度4月1日現在)

高齢者世帯（65歳以上）（夫65歳以上妻60歳以上の夫婦及び単身世帯）

| 年度 | 区分 夫婦世帯 | 単身世帯 | | |
|--------|------------|------|----|-----|
| | | 計 | 男 | 女 |
| 平成12年度 | 144 | 99 | 18 | 81 |
| 平成17年度 | - | 124 | 33 | 91 |
| 平成22年度 | 181 | 119 | 23 | 96 |
| 平成27年度 | 191 | 150 | 32 | 118 |
| 令和2年度 | 195 | 166 | 48 | 118 |

(国勢調査)

高齢化率の推移（65歳以上人口）

| 年度 | 区分 | 総数 | | | 65歳以上 | | | 高齢化率 | | |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|
| | | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| 平成12年度 | | 3,596 | 1,746 | 1,850 | 1,050 | 447 | 603 | 29.2% | 25.6% | 32.6% |
| 平成17年度 | | 3,325 | 1,586 | 1,739 | 1,127 | 464 | 663 | 33.9% | 29.3% | 38.1% |
| 平成22年度 | | 3,134 | 1,448 | 1,686 | 1,102 | 434 | 668 | 35.2% | 30.0% | 39.6% |
| 平成27年度 | | 2,926 | 1,355 | 1,571 | 1,162 | 478 | 684 | 39.7% | 35.3% | 43.5% |
| 令和2年度 | | 2,692 | 1,235 | 1,457 | 1,168 | 494 | 674 | 43.4% | 40.0% | 46.3% |

(国勢調査)

介護保険の状況

| 年度 | 区分 | 出現率 | | | 給付費（千円） | | 基準月額 保険料 （円） | 保険料（円） | |
|--------|----|--------------|-------------|------------|---------|---------------|--------------------|------------|------------|
| | | 第1号 被保険者数 | 要介護 認定者数 | 出現率 （%） | | 被保険者 1人当たり | | 調定額 | 収入額 |
| 平成29年度 | | 1,195 | 175 | 0 | 307,015 | 257 | 5,480 | 80,155,044 | 79,696,064 |
| 平成30年度 | | 1,194 | 178 | 0 | 329,313 | 276 | 5,800 | 85,685,780 | 85,272,960 |
| 令和元年度 | | 1,178 | 166 | 0 | 323,747 | 275 | 5,800 | 82,367,160 | 81,934,980 |
| 令和2年度 | | 1,166 | 166 | 0 | 318,227 | 273 | 5,800 | 79,880,740 | 79,284,700 |
| 令和3年度 | | 1,168 | 161 | 0 | 322,074 | 276 | 5,400 | 74,216,400 | 73,716,300 |

検診受診者数の推移

| 特定検診 | 年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | 増減 (令和3年-平成29年) |
|-------------|----|------------|------------|-----------|-----------|-----------|--------------------|
| 特定検診 | | 219 | 230 | 242 | 204 | 238 | 19 |
| ヘルスアップ検診 | | 38 | 40 | 37 | 18 | 21 | △17 |
| 胃検診 | | 307 | 274 | 308 | 310 | 346 | 39 |
| 大腸検診 | | 307 | 274 | 308 | 310 | 346 | 39 |
| 子宮検診 | | 163 | 159 | 168 | 162 | 180 | 17 |
| 乳房超音波検診 | | 111 | 132 | 122 | 111 | 160 | 49 |
| 乳房マンモグラフィ検診 | | 90 | 60 | 77 | 86 | 81 | △9 |
| 骨検診 | | 177 | 140 | 159 | 185 | 265 | 88 |
| 肺らせんCT検診 | | 286 | 275 | 285 | 350 | 312 | 26 |
| 前立腺がん検診 | | 120 | 117 | 114 | 113 | 122 | 2 |
| 胸部レントゲン検診 | | 333 | 288 | 274 | 203 | 242 | △91 |
| 参考 40歳以上人口 | | 2,126 | 2,090 | 271 | 2,028 | 1,999 | △127 |
| 参考 全人口 | | 2,988 | 2,925 | 2,877 | 2,789 | 2,754 | △234 |

第6章 産業

就業人口構造

(単位：人)

| | 合計 | 第1次 | 第2次 | 第3次 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| 昭和40年 | 2,643 | 1,112 | 895 | 636 |
| 昭和50年 | 2,346 | 524 | 1,067 | 755 |
| 昭和55年 | 2,165 | 323 | 1,042 | 800 |
| 昭和60年 | 2,411 | 345 | 1,271 | 795 |
| 平成2年 | 2,458 | 227 | 1,389 | 842 |
| 平成7年 | 1,967 | 185 | 906 | 876 |
| 平成12年 | 1,831 | 189 | 754 | 888 |
| 平成17年 | 1,662 | 122 | 629 | 911 |
| 平成22年 | 1,538 | 131 | 525 | 882 |
| 平成27年 | 1,469 | 118 | 469 | 882 |
| 令和2年 | 1,379 | 99 | 422 | 858 |

(資料：国勢調査)

年齢別就業者数及び従業地

(単位：人)

| 区分 | 就業者人口 | | | | 自宅で従業 | | | | 村内で従業 | | | | 村外で従業 | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|--------|-------|-------|------|--------|-------|-------|------|--------|
| | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年 | 増減率 | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年 | 増減率 | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年 | 増減率 | 平成22年 | 平成27年 | 令和2年 | 増減率 |
| 総数 | 1,542 | 1,482 | 1,404 | 91.1% | 244 | 233 | 187 | 76.6% | 581 | 596 | 606 | 104.3% | 717 | 646 | 585 | 81.6% |
| 15-19 | 6 | 11 | 6 | 100.0% | - | - | - | - | 1 | 4 | 1 | 100.0% | 5 | 7 | 5 | 100.0% |
| 20-24 | 72 | 54 | 50 | 69.4% | 3 | 3 | - | - | 12 | 18 | 19 | 158.3% | 57 | 33 | 30 | 52.6% |
| 25-29 | 101 | 74 | 60 | 59.4% | 5 | 3 | 5 | 100.0% | 29 | 19 | 24 | 82.8% | 67 | 52 | 30 | 44.8% |
| 30-34 | 109 | 94 | 84 | 77.1% | 7 | 9 | 3 | 42.9% | 30 | 36 | 30 | 100.0% | 72 | 49 | 51 | 70.8% |
| 35-39 | 135 | 120 | 91 | 67.4% | 15 | 6 | 7 | 46.7% | 47 | 52 | 42 | 89.4% | 73 | 61 | 42 | 57.5% |
| 40-44 | 122 | 136 | 136 | 111.5% | 3 | 13 | 10 | 333.3% | 55 | 51 | 55 | 100.0% | 64 | 72 | 70 | 109.4% |
| 45-49 | 174 | 127 | 139 | 79.9% | 17 | 6 | 14 | 82.4% | 65 | 55 | 55 | 84.6% | 92 | 66 | 67 | 72.8% |
| 50-54 | 168 | 175 | 130 | 77.4% | 19 | 22 | 6 | 31.6% | 59 | 61 | 58 | 98.3% | 90 | 91 | 63 | 70.0% |
| 55-59 | 204 | 165 | 166 | 81.4% | 24 | 21 | 21 | 87.5% | 78 | 57 | 61 | 78.2% | 102 | 87 | 84 | 82.4% |
| 60-64 | 206 | 189 | 148 | 71.8% | 36 | 28 | 20 | 55.6% | 103 | 86 | 54 | 52.4% | 67 | 74 | 70 | 104.5% |
| 65-69 | 105 | 164 | 147 | 140.0% | 35 | 37 | 22 | 62.9% | 49 | 86 | 79 | 161.2% | 21 | 38 | 44 | 209.5% |
| 70- | 140 | 173 | 247 | 176.4% | 80 | 85 | 79 | 98.8% | 53 | 71 | 128 | 241.5% | 7 | 16 | 29 | 414.3% |

※増減率は、平成22年を100とし、令和2年との比較 (資料：国勢調査)



工業の推移

(単位：万円)

| | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 平成 29 年 | 平成 30 年 | 令和元年 | 令和 2 年 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事業所数 | 8 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 |
| 従業者数 | 113 | 100 | 91 | 92 | 99 | 88 | 96 |
| 年間出荷額 | 154,677 | 131,648 | 117,918 | 108,216 | 105,959 | 102,489 | 109,338 |

(資料：工業統計調査)

産業（大分類）別事業所及び従業員数

| 区分 | 事業所数 | 従業員数 |
|-------------------|------|------|
| 農 林 漁 業 | 5 | 31 |
| 鉱業・採石業・砂利採取業 | - | - |
| 建設業 | 40 | 204 |
| 製造業 | 37 | 144 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | - | - |
| 情報通信業 | 1 | 2 |
| 運輸業・郵便業 | 9 | 98 |
| 卸売業・小売業 | 49 | 172 |
| 金融業・保険業 | - | - |
| 不動産業・物品賃貸業 | 5 | 8 |
| 学術研究・専門・技術サービス業 | 2 | 3 |
| 宿泊業・飲食サービス業 | 33 | 112 |
| 生活関連サービス業・娯楽業 | 16 | 27 |
| 教育・学習支援業 | 7 | 23 |
| 医療・福祉 | 5 | 34 |
| 複合サービス事業 | 4 | 30 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 13 | 55 |
| 総 数 | 226 | 943 |

(資料：平成 28 年経済センサス)

農業経営組織別経営体数

(単位：経営体)

| 調査年 | 農産物の販売のあつた経営体 | 単一経営経営体（首位部門の販売が 80%以上の経営体） | | | | | | | | | | | | | | | 複合経営（首位部門が 80%未満の経営体） | |
|------|---------------|-----------------------------|----|-----|------------|-------|------|------|-----|-------|--------|----|-----|----|----|----|-----------------------|-------------|
| | | 計 | 稲作 | 麦類作 | 雑穀・いも類・まめ類 | 工芸農作物 | 露地野菜 | 施設野菜 | 果樹類 | 花き・花木 | その他の作物 | 酪農 | 肉用牛 | 養豚 | 養鶏 | 養蚕 | | 畜産物 その他の |
| 2020 | 39 | 33 | - | - | 13 | - | 10 | - | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | - | - | - | - | 6 |
| 2015 | 55 | 48 | 10 | - | 10 | - | 15 | - | - | 1 | 3 | 1 | 7 | - | 1 | - | - | 7 |

(資料：農林業センサス)

経営耕地の状況

(単位：経営体・面積 ha)

| 調査年 | 計 | | | | 田 | | 畑 | | 樹園地 | |
|------|-------------|---------|------|----|-------------|----|-------------|-----|-------------|----|
| | 経営耕地のある経営体数 | 経営耕作総面積 | 借入耕地 | | 経営耕地のある経営体数 | 面積 | 経営耕地のある経営体数 | 面積 | 経営耕地のある経営体数 | 面積 |
| | | | 経営体数 | 面積 | | | | | | |
| 2020 | 42 | 118 | 24 | 69 | 21 | 12 | 39 | 105 | 1 | 0 |
| 2015 | 62 | 124 | 40 | 78 | 51 | 39 | 60 | 85 | - | - |

(資料：農林業センサス)

主業副業別農家数

(単位：戸)

| 調査年 | 計 | 主業農家 | 65歳未満の農業専従者がいる | | 準主業農家 | 65歳未満の農業専従者がいる | | 副業的農家 |
|------|----|------|----------------|----|-------|----------------|----|-------|
| | | | 専従者数 | 面積 | | 専従者数 | 面積 | |
| 2020 | 43 | 14 | 13 | | 3 | - | | 26 |
| 2015 | 61 | 17 | 12 | | 6 | 3 | | 38 |

(資料：農林業センサス)

農業就業人口

(単位：人)

| 調査年 | 年齢階層別 | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|----|----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 計 | 男 | 女 | 15 29 | 30 34 | 35 39 | 40 44 | 45 49 | 50 54 | 55 59 | 60 64 | 65 69 | 70 74 | 75 79 | 80 84 | 85 以上 |
| 2020 | 63 | 34 | 29 | 3 | 2 | 1 | 3 | 5 | 1 | 6 | 3 | 4 | 6 | 15 | 10 | 4 |
| 2015 | 121 | 55 | 66 | 8 | 2 | 2 | 7 | 3 | 9 | 4 | 5 | 12 | 24 | 21 | 18 | 6 |

(資料：農林業センサス)

国有林民有林別の森林面積及び蓄積

(単位：面積 ha・蓄積 m³)

| 区分 | 合計 | 国有林 | 公有林 | 私有林 |
|----|-----------|-----------|-----------|---------|
| 面積 | 12,811.98 | 7,830.05 | 1,396.13 | 3,585.8 |
| 蓄積 | 2,807,999 | 1,674,563 | 1,133,436 | |

(資料：長野県民有林の現況)

樹種別面積及び蓄積

(単位：面積 ha・蓄積 m³)

| 区分 | 合計 | 針葉樹 | | | | | | | 合計 |
|----|-----------|-------|---------|-------|---------|----------|-------|----------|----|
| | | スギ | ヒノキ | サワラ | アカマツ | カラマツ | その他 | | |
| 面積 | 4,961.71 | 9.93 | 713.58 | 19.05 | 488.69 | 2,445.68 | 39.81 | 3,716.74 | |
| 蓄積 | 1,133,436 | 2,990 | 151,903 | 5,241 | 115,965 | 700,544 | 7,267 | 983,910 | |

| 広葉樹 | | | | |
|------|------|-------|----------|----------|
| クヌギ | ブナ | ナラ | その他 | 合計 |
| 0.08 | 0.00 | 56.96 | 1,187.93 | 1,244.97 |
| 6 | 0 | 7,002 | 142,518 | 149,526 |

(資料：長野県民有林の現況)

第7章 財政

一般会計の年度別決算状況（地方財政状況調査等資料より）

（単位：千円）

| 区分 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 決算額 | 決算額 | 決算額 | 決算額 | 決算額 |
| 歳入 | | | | | |
| 地方税 | 655,566 | 630,949 | 619,941 | 594,096 | 575,409 |
| 地方譲与税 | 31,544 | 31,886 | 36,088 | 40,625 | 41,211 |
| 利子割交付金 | 527 | 610 | 278 | 257 | 203 |
| 配当割交付金 | 1,260 | 1,035 | 1,225 | 1,142 | 1,562 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 1,370 | 867 | 703 | 1,308 | 1,666 |
| 地方消費税交付金 | 53,790 | 56,114 | 53,153 | 65,263 | 70,203 |
| 自動車所得交付金 | 8,200 | 7,658 | 4,532 | 0 | 0 |
| 自動車環境性能割交付金 | | | 1,099 | 2,195 | 2,374 |
| 法人事業税交付金 | | | | 1,085 | 3,288 |
| 地方特例交付金 | 574 | 608 | 5,779 | 2,158 | 7,299 |
| 地方交付税 | 1,229,312 | 1,200,894 | 1,206,764 | 1,353,126 | 1,518,584 |
| 普通 | 1,104,827 | 1,092,379 | 1,110,365 | 1,241,886 | 1,369,134 |
| 特別 | 124,485 | 108,515 | 96,399 | 111,240 | 149,450 |
| 分担金・負担金 | 3,226 | 9,889 | 21,970 | 2,921 | 2,681 |
| 使用料 | 33,838 | 34,852 | 28,828 | 26,791 | 27,676 |
| 手数料 | 2,370 | 2,589 | 2,609 | 1,721 | 1,509 |
| 国庫支出金 | 109,421 | 113,596 | 111,408 | 637,029 | 291,822 |
| 県支出金 | 104,448 | 99,697 | 91,253 | 104,344 | 93,151 |
| 財産収入 | 18,448 | 18,475 | 19,009 | 15,777 | 13,069 |
| 寄付金 | 11,010 | 16,065 | 13,039 | 24,645 | 24,368 |
| 繰入金 | 54,499 | 132,509 | 226,233 | 208,752 | 80,951 |
| 繰越金 | 150,008 | 54,290 | 71,665 | 147,051 | 96,184 |
| 諸収入 | 60,660 | 131,163 | 87,832 | 95,656 | 72,303 |
| 地方債 | 294,400 | 409,700 | 393,300 | 572,207 | 288,370 |
| 歳入合計 | 2,824,471 | 2,953,446 | 2,996,708 | 3,898,149 | 3,213,883 |
| 歳出 | | | | | |
| 議会費 | 42,784 | 43,654 | 44,297 | 42,921 | 41,583 |
| 総務費 | 380,099 | 581,863 | 605,475 | 777,238 | 489,705 |
| 民生費 | 510,080 | 499,027 | 533,953 | 910,226 | 614,000 |
| 衛生費 | 266,018 | 100,542 | 93,914 | 198,695 | 206,408 |
| 労働費 | 15,002 | 5,633 | 5,965 | 4,926 | 2,697 |
| 農林水産業費 | 246,912 | 238,505 | 289,495 | 149,799 | 115,487 |
| 商工費 | 160,133 | 241,079 | 165,384 | 297,894 | 215,705 |
| 土木費 | 344,558 | 420,978 | 391,558 | 524,890 | 531,489 |
| 消防費 | 177,888 | 114,130 | 108,583 | 135,108 | 116,603 |
| 教育費 | 208,372 | 189,113 | 229,970 | 291,971 | 185,459 |
| 災害復旧費 | 5,465 | 35,071 | 0 | 66,198 | 112,027 |
| 公債費 | 362,870 | 372,187 | 331,063 | 332,099 | 313,917 |
| 諸支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歳出合計 | 2,720,181 | 2,841,782 | 2,799,657 | 3,731,965 | 2,945,080 |
| その他財政数値 | | | | | |
| 基準財政収入額 | 548,145 | 539,051 | 530,295 | 540,603 | 514,056 |
| 基準財政需要額 | 1,654,263 | 1,631,430 | 1,642,106 | 1,740,574 | 1,883,190 |
| 標準税収入額 | 703,441 | 690,683 | 678,559 | 684,827 | 649,221 |
| 標準財政規模 | 1,906,465 | 1,873,754 | 1,857,577 | 1,993,043 | 2,104,525 |
| 財政力指数 | 0.340 | 0.330 | 0.330 | 0.320 | 0.300 |
| 実質公債費比率(%) | 6.4 | 7.4 | 5.2 | 5.1 | 6.5 |
| 財政調整基金現在額 | 1,386,973 | 1,349,201 | 1,256,225 | 1,220,036 | 1,290,846 |
| 減債基金 | 8,869 | 8,870 | 8,871 | 8,872 | 8,872 |
| 特定目的基金 | 466,877 | 486,976 | 436,629 | 426,257 | 442,985 |
| 地方債現在高 | 2,563,033 | 2,612,232 | 2,683,277 | 2,930,073 | 2,910,186 |
| 税徴収率(%) | 99.7 | 99.7 | 99.6 | 98.7 | 99.8 |

村税の内訳

| 年度 | 区分 | 単位 | 村民税 | 固定資産税 | 軽自動車税 | たばこ税 | 計 |
|--------|-----|----|---------|---------|--------|-------|---------|
| 令和3年度 | 収入額 | 千円 | 126,033 | 434,665 | 11,322 | 3,389 | 575,409 |
| | 徴収率 | % | 98.7 | 99.2 | 89.1 | 100.0 | |
| 令和2年度 | 収入額 | 千円 | 119,027 | 460,352 | 11,182 | 3,535 | 594,096 |
| | 徴収率 | % | 93.8 | 99.0 | 90.1 | 100.0 | |
| 令和元年度 | 収入額 | 千円 | 129,630 | 475,199 | 10,626 | 4,487 | 619,942 |
| | 徴収率 | % | 99.0 | 98.8 | 91.4 | 100.0 | |
| 平成30年度 | 収入額 | 千円 | 129,860 | 486,213 | 10,046 | 4,830 | 630,949 |
| | 徴収率 | % | 99.0 | 98.8 | 92.6 | 100.0 | |
| 平成29年度 | 収入額 | 千円 | 131,739 | 508,874 | 9,838 | 5,115 | 655,566 |
| | 徴収率 | % | 99.2 | 98.8 | 94.1 | 100.0 | |

特別会計

(単位：千円)

| | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 歳入 | 歳出 | 歳入 | 歳出 | 歳入 | 歳出 | 歳入 | 歳出 | 歳入 | 歳出 |
| 国民健康保険特別会計 | 368,395 | 348,081 | 311,631 | 294,574 | 307,072 | 301,747 | 350,292 | 334,989 | 370,228 | 363,576 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 41,042 | 40,980 | 42,944 | 42,898 | 41,867 | 41,734 | 41,874 | 41,770 | 42,253 | 42,200 |
| 水道特別会計 | 161,716 | 149,294 | 210,538 | 198,552 | 108,841 | 85,271 | | | | |
| 農業集落排水特別会計 | 94,526 | 91,652 | 101,116 | 94,497 | 93,394 | 86,161 | | | | |
| 公共下水道特別会計 | 145,678 | 143,427 | 135,697 | 131,608 | 165,456 | 160,785 | | | | |

簡易水道事業会計

1. 収益の収入及び支出

(単位：千円)

| 区分 | 決算額 | | |
|----|----------|---------|---------|
| | 令和2年 | 令和3年 | |
| 収入 | 簡易水道事業収益 | 128,909 | 163,843 |
| | 営業収益 | 59,442 | 59,095 |
| | 営業外収益 | 69,467 | 104,748 |
| | 簡易水道事業費 | 115,918 | 120,250 |
| 支出 | 営業費用 | 110,060 | 116,365 |
| | 営業外費用 | 4,190 | 3,885 |
| | 特別損失 | 1,668 | 0 |

2. 資本的収入及び支出

(単位：千円)

| 区分 | 決算額 | | |
|----|---------|--------|---------|
| | 令和2年 | 令和3年 | |
| 収入 | 資本的収入 | 48,429 | 290,344 |
| | 企業債 | 12,800 | 197,000 |
| | 国庫補助金 | 4,295 | 91,666 |
| | 他会計補助金 | 31,334 | 1,678 |
| 支出 | 資本的支出 | 67,773 | 329,905 |
| | 建設改良費 | 36,252 | 298,463 |
| | 固定資産購入費 | 5,812 | 1,736 |
| | 企業債償還金 | 25,709 | 29,706 |

下水道事業会計

1. 収益の収入及び支出

(単位：千円)

| 区分 | 決算額 | | |
|----|---------|---------|---------|
| | 令和2年 | 令和3年 | |
| 収入 | 下水道事業収益 | 204,368 | 210,555 |
| | 営業収益 | 48,728 | 47,308 |
| | 営業外収益 | 155,640 | 163,247 |
| | 下水道事業費 | 191,759 | 191,109 |
| 支出 | 営業費用 | 165,900 | 168,619 |
| | 営業外費用 | 24,834 | 22,490 |
| | 特別損失 | 1,025 | 0 |

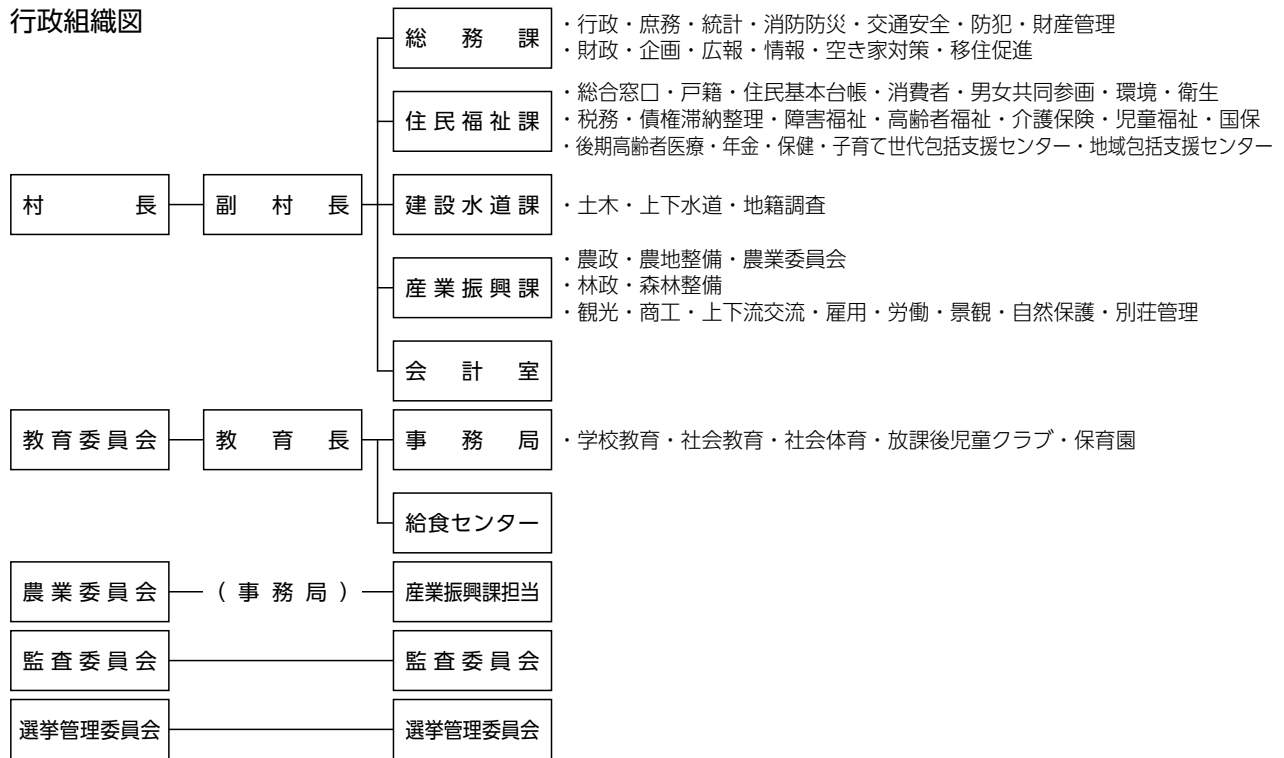
2. 資本的収入及び支出

(単位：千円)

| 区分 | 決算額 | | |
|----|---------|---------|---------|
| | 令和2年 | 令和3年 | |
| 収入 | 資本的収入 | 107,257 | 101,664 |
| | 企業債 | 28,000 | 12,600 |
| | 国庫補助金 | 13,147 | 12,650 |
| | 他会計補助金 | 64,155 | 74,490 |
| | 負担金等 | 1,955 | 1,924 |
| 支出 | 資本的支出 | 169,842 | 162,992 |
| | 建設改良費 | 43,862 | 32,998 |
| | 固定資産購入費 | 60 | 109 |
| | 企業債償還金 | 125,920 | 129,885 |

第8章 行政・議会

行政組織図



歴代村長

| 氏名 | 就任年月日・退任年月日 |
|---------|-------------------------|
| 永瀬 幸右衛門 | 明治22年5月17日～明治25年5月2日 |
| 山崎 市松 | 明治25年7月9日～明治26年7月10日 |
| 上村 馬喜 | 明治26年10月5日～明治29年3月28日 |
| 永瀬 幸右衛門 | 明治29年4月17日～明治30年3月19日 |
| 廣瀬 司直 | 明治30年4月15日～明治34年11月29日 |
| 今井 久内 | 明治35年3月3日～明治42年3月2日 |
| 杉本 寅之助 | 明治42年12月10日～明治43年10月25日 |
| 横澤 雄次郎 | 明治44年2月17日～大正3年1月25日 |
| 山崎 次郎 | 大正3年2月24日～大正7年2月25日 |
| 奥原 藤作 | 大正7年2月26日～大正9年3月31日 |
| 林 静 | 大正9年4月17日～大正12年5月19日 |
| 篠原 兼市郎 | 大正12年6月24日～昭和3年6月3日 |
| 湯川 治右衛門 | 昭和3年7月18日～昭和5年10月23日 |
| 篠原 安太郎 | 昭和5年11月19日～昭和7年11月18日 |
| 勝澤 良造 | 昭和8年1月18日～昭和12年1月17日 |
| 小林 秀之助 | 昭和12年4月1日～昭和13年12月19日 |
| 奥原 菊次郎 | 昭和13年12月26日～昭和17年9月20日 |
| 湯川 寛雄 | 昭和17年11月24日～昭和21年7月20日 |
| 古畑 繁次郎 | 昭和21年8月7日～昭和24年3月31日 |
| 青木 巖 | 昭和24年4月25日～昭和28年4月24日 |
| 湯川 栄江 | 昭和28年4月25日～昭和34年5月30日 |
| 奥原 定衛 | 昭和34年7月9日～昭和38年7月8日 |
| 青木 清之助 | 昭和38年7月9日～昭和40年2月7日 |
| 奥原 定衛 | 昭和40年3月7日～昭和44年3月6日 |
| 安原 清人 | 昭和44年3月7日～昭和52年3月6日 |
| 日野 文平 | 昭和52年3月7日～平成元年3月6日 |
| 中村 豊 | 平成元年3月7日～平成6年9月30日 |
| 武重 善博 | 平成6年10月19日～平成14年10月15日 |
| 栗屋 徳也 | 平成14年10月16日～平成26年10月15日 |
| 唐澤 一寛 | 平成26年10月16日～令和4年10月15日 |
| 奥原 秀一 | 令和4年10月16日～現在 |

歴代議長

| 氏名 | 就任年月日・退任年月日 |
|--------|------------------------|
| 湯川 栄江 | 昭和22年5月1日～昭和28年3月30日 |
| 清水 久治 | 昭和28年5月13日～昭和29年6月18日 |
| 青木 清之助 | 昭和29年6月19日～昭和38年4月29日 |
| 武重 兼雄 | 昭和38年5月4日～昭和41年7月24日 |
| 武重 一雄 | 昭和41年8月8日～昭和44年4月23日 |
| 蒲沼 米吉 | 昭和44年4月24日～昭和46年4月29日 |
| 日野 文平 | 昭和46年5月6日～昭和51年12月20日 |
| 古畑 秀雄 | 昭和51年12月21日～昭和54年4月29日 |
| 武居 常雄 | 昭和54年5月6日～昭和58年4月29日 |
| 武重 善博 | 昭和58年5月10日～平成3年4月29日 |
| 古畑 璋 | 平成3年5月8日～平成7年4月29日 |
| 牛丸 登正 | 平成7年5月9日～平成11年4月29日 |
| 邊見 久 | 平成11年5月16日～平成15年4月29日 |
| 武重 文智 | 平成15年5月8日～平成18年3月15日 |
| 奥原 正人 | 平成18年3月15日～平成19年4月29日 |
| 武居 孝男 | 平成19年5月9日～平成23年4月29日 |
| 深澤 衿子 | 平成23年5月11日～平成25年3月28日 |
| 古畑 節行 | 平成25年3月28日～平成27年4月29日 |
| 古畑 節行 | 平成27年5月8日～平成29年3月28日 |
| 田上 康男 | 平成29年3月28日～平成31年4月29日 |
| 古畑 節行 | 令和元年5月9日～令和4年4月22日 |
| 栗屋 正一 | 令和4年4月22日～現在 |

第9章 文化財・公共施設

木祖村指定文化財・天然記念物一覧

| No. | 名称 | 種類 | 指定年月日 | 所在地 | 所有者 | 指定理由 |
|-----|--------------------|----------------------|----------------|-----------------------|----------------|-------------------------------------|
| 1 | 木祖村史跡鳥居峠 | 史跡名勝天然記念物 (史跡) | 昭和48年 11月1日 | 木祖村大字藪原 528-4 他 | 木祖村 | 古戦場跡・句碑群・栃の天然木・ 石造物群・御嶽遥拝所他 |
| 2 | 天降社の オオモミジ | 史跡名勝天然記念物 (天然記念物) | 昭和52年 7月1日 | 木祖村大字藪原 607 | 原町町内 | 樹幹の美しい村内唯一の巨木 |
| 3 | 花ノ木のハナノキ | 史跡名勝天然記念物 (天然記念物) | 昭和52年 7月1日 | 木祖村大字小木曾 1593 | 木祖村 | 恵那山及びその周辺の湿地だけに 自生し、他地域には見られない |
| 4 | 田ノ上の シダレザクラ | 史跡名勝天然記念物 (天然記念物) | 昭和52年 7月1日 | 木祖村大字小木曾 1788 | 極楽寺 | 村内最大の巨木、樹幹が美しく 樹姿も整っている |
| 5 | 菅の エドヒガンザクラ | 史跡名勝天然記念物 (天然記念物) | 昭和52年 7月1日 | 木祖村大字菅 2410 | 菅生産 森林組合 | 村内最大の古木、幹囲3.9m 樹姿も整っている |
| 6 | 大平のシダレグリ | 史跡名勝天然記念物 (天然記念物) | 昭和52年 7月1日 | 木祖村大字菅 2618 | 大平村 | 主幹くの字。三大枝左右くねり、 小枝湾曲長く垂れ奇観希少珍木 |
| 7 | 藪原神社本殿附取外 鬼板1個 | 有形文化財 (神社建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字藪原 504-11 | 藪原神社 | 文政10年建築 立川和四郎富昌作 三間社流造軒磨破風付柿葺 |
| 8 | 諏訪神社本殿附棟札 1枚 | 有形文化財 (神社建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字小木曾 437 | 諏訪神社 | 貞享2年建築 牛丸善右衛門作 三間社流造柿葺 村内最古神社建物 |
| 9 | 衣更着神社本殿 | 有形文化財 (神社建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字菅 2310 | 衣更着神社 | 江戸時代後期建築 一間社流造軒磨破風付柿葺 |
| 10 | 吉田神明宮 | 有形文化財 (神社建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字菅 272-口 | 吉田神明宮 (吉田区) | 明治26年建築 中村惣左衛門他2名作 三間社神明造り銅板葺 |
| 11 | 極楽寺本堂附棟札 1枚 | 有形文化財 (寺院建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字藪原 297-1 | 極楽寺 | 元禄4年建築 昭和17年大改修 牛丸善右衛門他2名作 入母屋造 |
| 12 | 極楽寺山門附棟札 1枚 | 有形文化財 (寺院建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字藪原 297-1 | 極楽寺 | 元禄11年建築 牛丸善太郎他4名作 三間一戸四脚門 |
| 13 | 田ノ上観音堂附棟札 2枚 | 有形文化財 (観音堂・寺院建築物) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字小木曾 1788 | 極楽寺 | 安永5年建築 神田市右工門他 1名 寄棟造茅葺 |
| 14 | 聖観音菩薩立像 | 有形文化財 (彫刻) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字小木曾 1788 | 極楽寺 | 藤原末期 聖観音菩薩立像 一本造素地一駆 |
| 15 | 吉田地蔵尊像 | 有形文化財 (工芸品) | 昭和61年 3月10日 | 木祖村大字菅 99-1 | 吉田地蔵尊 保存会 | 貞享2年発掘 黄金仏 像高8.2cm |
| 16 | 鳥居峠のトチノキ群 | 史跡名勝天然記念物 (天然記念物) | 平成4年 12月17日 | 木祖村大字藪原 528-1の内 | 木祖村 | 里山で他に類がないトチノキの 大木があり唯一の群生地である |
| 17 | ヒメギフチョウと その生息地 | (天然記念物) | 平成11年 4月1日 | 木祖村大字藪原 528-5 他 | 武重英樹他 | ギフチョウと共に春の女神と いわれる貴重な蝶である |
| 18 | ハッチョウトンボと その生息地 | (天然記念物) | 平成11年 4月1日 | 木祖村大字小木曾 4961の21 他 | 細島管理 組合 | 体長が20ミリ前後の 日本産トンボでは最小といわれる |

長野県指定文化財一覧

| No. | 名称 | 対象 | 指定年月日 |
|-----|-------------------|--------|---------------------|
| 1 | 選択無形文化財 (工芸技術) | お六櫛の技法 | 昭和 48 年 6 月 19 日 |

主要公共施設等一覧

| 施設名 | 施設所在地 | 延面積 | 竣工年月 |
|---------------------------|--------------------|--------|--------------|
| 木祖村役場 | 木祖村大字藪原 1191 番地 1 | 2,066 | 昭和 60 年 3 月 |
| 木祖村保健センター | 木祖村大字藪原 1191 番地 1 | 498 | 昭和 60 年 3 月 |
| 木祖村社会体育館 | 木祖村大字藪原 1191 番地 1 | 1,554 | 昭和 59 年 12 月 |
| 木祖村民センター | 木祖村大字藪原 196 番地 | 1,073 | 昭和 48 年 9 月 |
| 木祖村老人福祉センター | 木祖村大字小木曾 1574 番地 2 | 796 | 昭和 53 年 10 月 |
| 木祖村公民館菅分館 | 木祖村大字菅 1324 イ番地 2 | 484 | 昭和 55 年 11 月 |
| 木祖村公民館小木曾分館 | 木祖村大字小木曾 4459 番地 2 | 260 | 昭和 56 年 12 月 |
| 木祖村林業会館 | 木祖村大字菅 195 番地 1 | 262 | 昭和 54 年 10 月 |
| 木祖村転作研修センター | 木祖村大字藪原 250 番地 2 | 327 | 昭和 55 年 10 月 |
| 地域交流施設 青年の家 | 木祖村大字藪原 607 番地 2 | 207 | 平成 26 年 3 月 |
| 木祖村郷土館 | 木祖村大字藪原 189 番地 1 | 326 | 昭和 49 年 12 月 |
| 木祖村運動場 | 木祖村大字小木曾 105 番地 1 | 7,520 | 昭和 55 年 3 月 |
| 木祖小学校 | 木祖村大字藪原 1563 番地 | 6,230 | 昭和 58 年 10 月 |
| 木祖中学校 | 木祖村大字藪原 461 番地 | 5,036 | 昭和 55 年 2 月 |
| 町並集会施設 (ときわ) | 木祖村大字藪原 1111 番地 1 | 193 | 平成 13 年 5 月 |
| 木祖村公民館わら原分館 (光沢交流センター) | 木祖村大字藪原 1768 番地 | 199 | 平成 3 年 12 月 |
| 奥峰リゾート 16 区公会所 | 木祖村大字小木曾 3261 番地 2 | 180 | 昭和 58 年 10 月 |
| 山振多目的集会施設 | 木祖村大字小木曾 915 番地 | 245 | 平成 4 年 3 月 |
| 木祖村菅北部集会所 | 木祖村大字菅 1823 番地 1 | 172 | 昭和 61 年 3 月 |
| 15 区公会所 | 木祖村大字小木曾 2725 番地 1 | 227 | 平成 7 年 12 月 |
| 柴原生活改善センター | 木祖村大字小木曾 5107 番地 | 194 | 昭和 60 年 3 月 |
| 寺平集会施設 | 木祖村大字小木曾 3901 番地 1 | 220 | 平成 4 年 12 月 |
| 木祖村社会教育施設 藪原宿にぎわい広場笑ん館 | 木祖村大字藪原 1019 番地 1 | 439.35 | 平成 26 年 12 月 |
| げんきふれあい交流施設 (ねぎや) | 木祖村大字小木曾 231 番地 | 221.1 | 平成 27 年 3 月 |
| 木祖村福祉施設 (幸せテラスまめのわ) | 木祖村大字藪原 1191 番地 30 | 937 | 令和 3 年 3 月 |
| 菅地区コミュニティ消防センター | 木祖村大字菅 1024 番地 1 | 281 | 平成 9 年 3 月 |
| とちのみ保育園 | 木祖村大字小木曾 523 番地 | 982 | 平成 16 年 3 月 |
| 木祖村交流促進施設 (ほのぼのハウス) | 木祖村大字菅 2857 番地 16 | 910 | 平成 12 年 3 月 |
| 若者ふれあい支援センター (スキー学校) | 木祖村大字菅 2968 番地 13 | 276 | 平成 13 年 12 月 |



木祖村村民憲章

わたくしたちの村は、山深い草かげにうまれた雫たちが、大河となって太平洋にそそぐみなもの村です。

恵まれた自然の中で、すこやかで、さわやかに、心豊かなふれあいを深めながらのびてゆく木祖村。

わたくしたちは、歴史に学び、未来へ夢をつないで、新しい時代にふさわしい郷土の建設をねがい、この憲章を定めます。

- 一、緑と水に恵まれた豊かな自然を守り、快適な生活ができる村をつくりましょう。
- 一、地域の特性を生かし、調和のとれた産業が栄える村をつくりましょう。
- 一、環境を整えて、幸せと福祉の充実する村をつくりましょう。
- 一、たくましい創造力で、深い教養と文化のかおる村をつくりましょう。
- 一、健康で働く喜びを大切にし、希望あふれる明るい村をつくりましょう。



木祖村勢要覧

発行日／令和5年3月

発行／木祖村役場総務課

〒399-6201 長野県木曾郡木祖村藪原1191番地1

TEL 0264-36-2001 FAX 0264-36-3344

ホームページ <https://www.vill.kiso.nagano.jp/>

E-mail kizai@kisomura.com



木祖村
イメージキャラクター
“源流の源気くん”